

事務事業名(細目)	保健体育一般管理事業	担当部課	教育委員会 社会教育課
予算コード	10 - 06 - 01 - 001 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	朝来市スポーツ推進委員会、スポーツクラブ21朝来市推進委員会を核として、市民が気軽にスポーツに親しめるための環境づくりを推進する。			
事業の実施内容等	社会体育の振興 ・朝来市スポーツ推進委員会の主管事業及び会議開催(総会1回、役員会4回) ・スポーツクラブ21朝来市推進委員会の開催(1回) ・朝来市スポーツ推進審議会の開催(4回)			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
1.報酬	1,575,500	スポーツ推進委員報酬	1,350,000
8.報償費	167,000	スポーツ推進計画策定委員報償	386,000
9.旅費	149,000	委員職員出張旅費	91,310
11.需用費	197,208	消耗品、印刷費	470,523
12.役務費	0		40,352
19.負担金補助及び交付金	72,400	但馬スポーツ推進委員会負担金他	194,100
合計	2,161,108		2,532,285
財源内訳	特定国庫支出金		
	特定県支出金		
	特定地方債		
	特定その他		
	一般財源	2,161,108	
合計	2,161,108		2,532,285
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
1.報酬	スポーツ推進委員報酬	1,400,000	1,350,000	1,350,000	1,575,500
8.報償費	講演会等講師謝礼、事業協力者謝礼、委員謝礼	140,000	149,000	386,000	167,000
9.旅費	委員職員出張旅費	122,860	75,520	91,310	149,000
11.需用費	消耗品	188,118	222,150	470,523	197,208
12.役務費		0	0	40,352	0
19.負担金補助及び交付金	但馬スポーツ推進委員会負担金等	51,000	47,100	194,100	72,400
事業費計		1,901,978	1,843,770	2,532,285	2,161,108
【4】正規職員人件費		4,543,000	2,967,000	7,411,000	7,336,729
【5】臨時職員人件費		0	0	0	0
【6】総合計		6,444,978	4,810,770	9,943,285	9,497,837
財源内訳	【7】国庫支出金			0	0
	【8】県支出金			0	0
	【9】地方債			0	0
	【10】その他			0	0
	【11】一般財源	6,444,978	4,810,770	9,943,285	9,497,837
【12】合計	6,444,978	4,810,770	9,943,285	9,497,837	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
スポーツ推進委員主管理事等開催数	回	6	6	6	6

<変化の理由>

【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
会議開催数	回	19	17	19	19

<変化の理由>

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
会議開催数	339,209	282,986	523,331	499,886

<変化の理由及びそれへの対応策>

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	スポーツクラブの各団体は継続運営に課題を抱えている。
[2]近隣市町で提供されて いるサービス水準との比較	スポーツ推進委員はスポーツ基本法に基づき、サービスに大差はない。
[3]代替サービスの有無	

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	スポーツ推進委員は法に基づく委員であり、継続した取り組みが必要である。スポーツクラブは13クラブある組織の方向性を検討していく必要がある。 朝来市スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法による審議を求められ、年1回以上は開催する必要がある。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◇市として市民のスポーツの推進を図り、健康や交流の促進を図らなければならない。しかし、各小学校単位で設立されたスポーツクラブ21は徐々に会員数およびスポーツ団体数が減少し、活動もままならぬ状態となっているため、旧町単位で各組織を一本化していくなど継続実施すべきと考える。
事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	スポーツクラブ21の組織、活動内容の見直しをすること。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	体育協会等支援事業	担当部課	教育委員会 社会教育課
予算コード	10 - 06 - 01 - 003 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】		事業開始年度	評価区分	計画
	13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	スポーツ団体等への活動補助を行い、スポーツ活動を促進し、市民の健康・体力づくり、競技力の向上を図る				
事業の実施内容等	朝来市体育協会・朝来市陸上競技協会への活動補助金の交付				

2.事業費等(単位:円)

事業費内訳	節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
		19.負担金補助及び交付金	2,291,000	朝来市体育協会補助金
	19.負担金補助及び交付金	180,000	朝来市陸上競技協会補助金	180,000
	合計	2,471,000		2,471,000
財源内訳	特定財源			
	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	一般財源	2,471,000		2,471,000
	合計	2,471,000		2,471,000
	国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
19.負担金補助及び交付金	朝来市体育協会補助金	1,911,000	2,411,000	2,291,000	2,291,000
19.負担金補助及び交付金	朝来市陸上競技協会補助金	189,000	189,000	180,000	180,000
事業費計		2,100,000	2,600,000	2,471,000	2,471,000
【4】正規職員人件費		3,783,000	786,000	1,813,000	2,460,296
【5】臨時職員人件費		26,000	27,000	134,000	77,889
【6】総合計		5,909,000	3,413,000	4,418,000	5,009,185
財源内訳	特【7】国庫支出金			0	0
	定【8】県支出金			0	0
	財【9】地方債			0	0
	源【10】その他			0	0
	【11】一般財源	5,909,000	3,413,000	4,418,000	5,009,185
	【12】合計	5,909,000	3,413,000	4,418,000	5,009,185
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
加盟団体が自主運営で行う大会等の回数	回	26	28	28	30

<変化の理由>
24年度より、わずかであるが増傾向にある。要因としては、体協補助金交付要綱一部改正したことだと考えられる。各種スポーツ大会等の開催状況において加盟団体によって差があるので、各種団体の活発な活動に向けての対策が必要である。

【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
朝来市体育協会加盟活動団体数	団体	36	38	36	39

<変化の理由>
4年間で見るとほぼ横ばい状態にある。要因については各団体の所属者個人の都合が大きいと考えられる。

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
朝来市体育協会加盟活動団体数	164,139	89,816	122,722	128,441

<変化の理由及びそれへの対応策>
活動団体が増加している場合は単位当たりの金額は減少傾向にある。加盟団体による自主的なスポーツ大会等の企画・運営ができるように指導していくとともに、統合種目団体数には変化が無いため、未加入団体の加盟を促進し組織強化を図っていく。
朝来市スポーツ推進委員会・スポーツクラブ21等の団体とも連携を密にし、市内の生涯スポーツ推進の担い手として幅広い活動団体となるよう支援していく。

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	似たような大会がたくさんあるが、何回もやる意味があるのかという声もある。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	朝来市の加盟団体の競技種目は16種目であるが、豊岡市では20種目であった
[3]代替サービスの有無	なし

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	競技スポーツをリードする団体として活発な活動が期待される。若い年齢層の発掘や新しい競技スポーツの浸透などを求めたい。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	各協会毎にスポーツ大会を行うなどスポーツの推進に貢献されているが、協会を支える会員の減少も出てきているので、各協会毎に組織の強化を図っていく課題がある。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	継続実施とするが、体育協会の組織、支援のあり方について見直しをすること。
○ 継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	社会体育事業(全市)	担当部課	教育委員会 社会教育課
予算コード	10 - 06 - 01 - 005 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 保健体育総務費	

1.事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	1.ソフト事業
事業の目的	市民が気軽にスポーツに参加し、スポーツを通じた交流が出来るように各種スポーツ大会、教室を実施する。			
事業の実施内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・市長杯バレーボール大会 ・市民ソフトボール決勝大会 ・市民壮年女子ソフトボール大会 ・軟式野球大会 ・市民ソフトボール交流大会 ・スポレク大会 ・スキー・スノーボード教室(積雪量不足のため中止) ・子どもを対象としたスポーツ教室の開催(サッカー、野球) 			

2.事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
8.報償費	543,404	式典等記念品、事業協力者謝礼	438,127
11.需用費	99,730	大会案内、プログラム等作成	130,399
12.役務費	0		0
14.使用料及び賃借料	0	スキー・スノーボード教室バス借り上げ	275,400
合計	643,134		843,926
財源内訳	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	地方債		
	その他		
一般財源	643,134		843,926
合計	643,134		843,926
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

社会体育事業(全市)

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
8.報償費	式典等記念品、事業協力者謝礼	695,565	444,318	438,127	543,404
11.需用費	大会案内、プログラム作成	175,667	130,879	130,399	99,730
12.役務費	新春マラソン大会手数料	293,568	0	0	0
14.使用料及び賃借料	自動車借上料	267,750	267,750	275,400	0
事業費計		1,432,550	842,947	843,926	643,134
[4]正規職員人件費		2,857,000	1,680,000	4,796,000	4,326,903
[5]臨時職員人件費		0	0	0	0
[6]総合計		4,289,550	2,522,947	5,639,926	4,970,037
財源内訳	特 [7]国庫支出金			0	0
	定 [8]県支出金			0	0
	財 [9]地方債			0	0
	源 [10]その他			0	0
	[11]一般財源	4,289,550	2,522,947	5,639,926	4,970,037
[12]合 計	4,289,550	2,522,947	5,639,926	4,970,037	
[13]国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
開催日数	回	8	6	7	8
<変化の理由> スキー・スノーボード教室が積雪不足で中止となったが、ジュニア向けスポーツ教室の開催で回数が増えた。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
参加人数	人	950	768	767	820
<変化の理由> ジュニアスポーツ教室の参加人数が多くあった。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
参加人数	4,515	3,285	7,353	6,061
<変化の理由及びそれへの対応策> 団体スポーツで参加が減っていることから上昇している。個人が参加しやすい内容を検討していく。				

社会体育事業(全市)

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	各市で工夫を凝らした内容で事業が進められていると感じる。
[3]代替サービスの有無	主管団体を体育協会所属団体に依頼している。

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	団体スポーツの開催では、年々参加が減少傾向にあり、新たなスポーツや志向に合わせた内容に変化を持たせることも良いと考える。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	○ 改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

B. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	拡充	開催種目が固定されているので、全体的に参加者が減少気味である。団体スポーツだけでなく、個人でも参加ができるスポーツも盛り込む必要がある。
A 事業実施の必要性	2	継続実施	
実施主体の妥当性	2	○ 改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
拡充	
継続実施	
改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
拡充	参加してもらいやすい工夫をすること。
継続実施	
○ 改善見直し	
抜本的見直し	
休止	
廃止	

事務事業名(細目)	温水プール運営管理事業	担当部課	教育委員会 社会教育課
予算コード	10 - 06 - 02 - 100 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 体育施設管理費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ(社会減抑制)	事業開始年度	評価区分	計画
	13			生涯学習・生涯スポーツの推進
事業の目的	市民の健康増進と心豊かな生活の醸成を育むため、プールを適正に管理運営し、利用者が安心して利用しやすい施設の維持に努める。			
事業の実施内容等	「エスポワ」、「くじら」両施設の管理運営を指定管理者に委託する。 ・指定管理者との定期的な連絡会、温水プール運営委員会の実施。 ・施設の維持に関する修繕等を実施。 ・平成28年度以降の指定管理に係る指定管理者選定委員会を実施。 ・プールの利用促進と健康促進や運動効果を測定し、プールの利用効果を周知していくためのモニター制度の実施。			

2. 事業費等(単位:円)

区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
1.報酬	49,500	指定管理者選定委員会委員報酬	
8.報償費	32,000	運営委員会委員等謝金	68,000
9.旅費	11,870	委員職員出張旅費	
11.需用費	5,607,480	修繕料	4,262,760
12.役務費	302,659	保険料	302,559
13.委託料	51,900,697	指定管理料、モニター制度	46,800,000
14.使用料及び賃借料	350,000	土地使用料	350,000
合計	58,254,206		51,783,319
財源内訳	特定国庫支出金		
	特定県支出金		
	特定地方債		
	特定その他		
	一般財源	58,254,206	
合計	58,254,206		51,783,319
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
1.報酬	指定管理者選定委員会委員報酬	63,000	0	0	49,500
8.報償費	運営委員会等報償費	0	108,000	68,000	32,000
9.旅費	選定委員旅費	10,640	0	0	11,870
11.需用費	修繕料	5,837,055	5,163,900	4,262,760	5,607,480
12.役務費	保険料、手数料	353,635	294,435	302,559	302,659
13.委託料	指定管理料	49,950,000	43,959,800	46,800,000	51,900,697
14.使用料及び賃借料	駐車場借上げ料	350,000	350,000	350,000	350,000
18.備品購入費	入館システム更新料	0	646,380	0	0
事業費計		56,564,330	50,522,315	51,783,319	58,254,206
【4】正規職員人件費		3,656,000	3,445,000	2,752,000	2,586,351
【5】臨時職員人件費		0	0	0	0
【6】総合計		60,220,330	53,967,315	54,535,319	60,840,557
財源内訳	【7】国庫支出金				0
	【8】県支出金				0
	【9】地方債				0
	【10】その他				0
	【11】一般財源	60,220,330	53,967,315	54,535,319	60,840,557
【12】合計	60,220,330	53,967,315	54,535,319	60,840,557	
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
プール運営委員会	回	0	3	2	2
<変化の理由> 25年度から運営管理について方針を検討する会議を開始した。年2回を基準に実施する。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
利用者数	人	77,701	64,025	66,612	67,259
<変化の理由> スケジュールによるスクール教室や、高齢者の午前中利用など各者にあった利用形態があり、延べ人数は変動が少ない。H27はエスポワで工事のため閉館時期があったが、利用者が戻っている。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
利用者数	775	843	819	905
<変化の理由及びそれへの対応策> 利用者数が減少するが、固定的な運営経費は変わっていない。利用者の満足感を高めていくことが大切。				

6. 事業環境

【1】市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	エスポワでは安全な施設を求める声があった
【2】近隣市町で提供されているサービス水準との比較	市内に温水プールが2つある市は少ない
【3】代替サービスの有無	

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	あさごふれあいプール「くじら」あり方検討委員会で運営管理について検討していく。2館運営は小学生プールのこともあり継続していくことになる。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
A 事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◇「エスポワ」は現状維持で、利用者の拡大を目指しながら継続実施とすべきと考える。「くじら」については市民代表者の方々と組織した在り方検討委員会の答申を尊重し、決定することとし、それまでは現状実施とする。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	3	改善見直し	
B サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	全体の意見としては、改善見直しが6票であった。議論としては、現状、温水プール運営管理事業が赤字状況になっていることを踏まえ、運営のあり方の見直し、それぞれの施設のより一層の有効活用が必要であった。加えて、受益者負担比率の検討、施設の統合の可能性についても議論があった。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	2館のあり方について検討する必要がある。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

事務事業名(細目)	体育施設整備事業	担当部課	教育委員会 社会教育課
予算コード	10 - 06 - 02 - 300 - 01		
款: 教育費	項: 保健体育費	目: 体育施設管理費	

1. 事務事業の目的、事業内容

総合計画体系	好きなまちでエコライフ【社会減抑制】	事業開始年度	評価区分	計画
13	生涯学習・生涯スポーツの推進	H 17	事業種別	3.施設等整備事業
事業の目的	・市民のスポーツ振興と健康増進、心身ともに心豊かな生活を営むスポーツ施設の適正な管理利用者が安心して利用できる施設の整備に努める。			
事業の実施内容等	・市内すこやか広場防球フェンス改修工事の取り掛かり(H28繰越) ・体育館等の吊り下げ照明・バスケットゴールの安全点検			

2. 事業費等(単位:円)

節区分	平成27決算(円)	説明等	前年度決算(円)
13.委託料	1,074,600	設計管理委託料、施設点検委託料	7,918,560
15.工事費	0	工事請負費	5,801,760
合計	1,074,600		13,720,320
財源内訳			
特定財源			
国庫支出金			
県支出金			
地方債		適疎地域自立促進特別事業債	1,500,000
その他			
一般財源	1,074,600		12,220,320
合計	1,074,600		13,720,320
国庫支出金を除いた比率	100.00%		

3. 事業費等の推移(単位:円(決算))

【1】節区分	【2】説明	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
11.需用費	社会体育施設修繕	4,994,521	3,480,750	0	0
13.委託料	設計管理委託料、施設点検委託料	0	0	7,918,560	1,074,600
15.工事費	工事請負費	0	0	5,801,760	0
18.備品購入費	備品購入費	0	129,800	0	0
事業費計		4,994,521	3,610,550	13,720,320	1,074,600
【4】正規職員人件費		963,000	813,000	1,583,000	1,954,597
【5】臨時職員人件費		0	0	0	25,963
【6】総合計		5,957,521	4,423,550	15,313,320	3,055,160
財源内訳					
特	【7】国庫支出金			0	0
定	【8】県支出金			0	0
財	【9】地方債			1,500,000	0
源	【10】その他			0	0
【11】一般財源		5,957,521	4,423,550	13,813,320	3,055,160
【12】合計		5,957,521	4,423,550	15,313,320	3,055,160
【13】国庫支出金を除いた比率		100.00%	100.00%	100.00%	100.00%

4. 成果指標等

【1】事業の活動を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
工事等を行った回数	回	11	6	4	1
<変化の理由> 26年度より減少傾向にある。原因は、過年度に修繕を終わらせ、体育施設適正利用方法の周知に成功したためと考えられる。					
【2】事業の成果を表す数値	単位	年 度			
		24年度	25年度	26年度	27年度
体育施設利用件数	件	5,834	5,415	5,360	4,921
<変化の理由> 年々減少傾向にある。原因は人口減少及び利用者の高齢化だと考えられる。					

5. 成果単位あたり金額(円)

【1】単位あたり金額	年 度			
	24年度	25年度	26年度	27年度
体育施設利用件数	1,021	817	2,857	621
<変化の理由及びそれへの対応策> 体育施設利用件数の変化が事業費の変化と比較すると緩やかなため、成果単位当たりの金額は事業費の多少に影響されている。定期的な施設点検を行い、安全管理のため早期に修繕が必要な箇所については修繕を優先的に実施していくとともに、体育館等は遊戯所にも指定されていることから必要なものは改修をしていく必要がある。老朽化にともない修繕が必要な箇所も増えているので、費用対効果を考慮し、今後も計画的に修繕を実施していく。				

6. 事業環境

[1]市民ニーズ・団体の意見 (アンケートなど)	市民の方から修繕してほしい等の意見が多数でている。
[2]近隣市町で提供されているサービス水準との比較	養父市では1時間又は30分単位で使用料を設けており、短時間だけでも使用しやすいようになっている。
[3]代替サービスの有無	なし

7. 一次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	○ 拡充	体育館など建築から30年余りを経過する施設が増え、老朽化が顕著となる中、優先度をつけた計画的な修繕・改修が必要となっている。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

A 事業実施意義 B 事業内容手法 C 市民とのコミュニケーション

8. 二次評価

評価項目	ランク	評価	評価理由
事業実施の緊急性	2	○ 拡充	◇各施設の機能等の状況を把握し、その反面使用状況等も把握し、修繕をするか解体するか等を中長期の方針を立てていく必要があるが、当面は継続実施すべきと考える。
A 事業実施の必要性	2	○ 継続実施	
実施主体の妥当性	2	改善見直し	
サービス対象の広がり	2	抜本的見直し	
B 事業内容等の適切さ	2	休止	
受益者負担の適切さ	2	廃止	
C 市民ニーズの把握	2		

9. 外部評価

評価	評価理由
○ 拡充	
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	

10. 最終評価

評価	評価理由
○ 拡充	二次評価のとおりとする。 公共施設の再配置に合わせた検討が必要である。
○ 継続実施	
○ 改善見直し	
○ 抜本的見直し	
○ 休止	
○ 廃止	